愛教大の「いま」にであえる情報誌





2021 SUMMER

地域から頼られる大学子どもの声が



子どもと共に、学生と共に、 社会と共に、附属学校園と共に、 未来の教育を創ります



多様な経験を持つ社会人や教員経験者、高校生や大学生、 保護者や地域の人など、様々な立場から 教職の魅力について語り、新たな価値を提案します

### 就任2年目を迎えるにあたって

#### 小塚学長補佐 この1年を振り返っていただけますか。

野田学長 2020年4月に入学式が中止の中で学長に就任し、1年3カ月が 経ちました。コロナ禍が続く中、学内的には、自らが指名した准教授と若手事務 職員18人での18回を数えた学長戦略ワーキングや、学生や附属学校園との 意見交換、大学改革推進委員会での検討が印象に残っています。今後数年の 取り組みの根幹を作り上げることができたと実感しています。

国立大学協会や文部科学省との会議は、1回だけ東京に行きましたが、あと は全部遠隔会議で大変疲れますね。これは、なかなか慣れませんね。どのように 対応していけばよいのかを、今後さらに勉強していきたいと思っています。

また、愛知県や名古屋市の教育委員会、教育センター、市町の教育委員会に 出向いたり、東海地区の国立私立大学に出向いたり、フットワークよく活動でき ました。これによって、相手側に、学長としての私のスタンスを理解いただき、距 離が近づいたと思っています。

附属学校園には、卒業式で附属特別支援学校に行けば、用がなくても隣接 する附属岡崎小学校に顔を出し、生徒向けの講演で附属名古屋中学校に行け ば、隣接する附属名古屋小学校に顔を出しました。昨夏、附属名古屋小学校で1 年生とは直接交流、附属岡崎小学校4年生にはビデオレターを送り交流しまし た。今日も午前中に、附属幼稚園5歳児に向けて、ジャガイモ掘りのライブ配信 をしました。今後もできる限り附属学校園には出向きたいと思っています。

自身のリフレッシュとして、始業前と昼休みに散歩を兼ねて学内を回ること を日課とし、学生や非常勤講師の方を含め教職員と交流を深めることができて います。

小塚学長補佐 積極的に学内外でコミュニケーションをとられ ていることがよく分かりました。その他に、学長として何か気を 付けていらっしゃることはありますか。



野田学長学内構成員への声掛けは日頃大学のために頑張ってくれてい ることに対する感謝の気持ちから行っていることです。また、学長室に入りや すい、相談しやすい雰囲気づくりも心掛けています。

真島学長補佐 学長室への訪問時だけでなく、緊急に電話で確認したい ことや判断を仰ぎたいこと、お伝えしたい情報等があった場合、時間を割い て対応してくださいます。また、大学運営をしていく上で、学長が素早い対応 を心掛けていらっしゃることもよく分かります。

### 未来共創プランについて紹介

小塚学長補佐 昨年度はコロナ禍対応で大変な一年でした が、その中で今後の本学の重要戦略として「未来共創プラン」を 策定されました。これについてお聞かせください。

野田学長 私が学長になる直前の2020年3月に、「国立大学法人ガバナ ンスコード」が制定され、「法人の長は、ミッションを踏まえ、中長期的ビジョ ン、目標、戦略を立て、公表する」ことになり、このタイミングでプラン作りに 着手しました。学長戦略ワーキングを組織し、限られた時間の中で検討を重 ねるとともに、さまざまな組織や方々から意見聴取をしてブラッシュアップを して、最終的には、教授会、教育研究評議会、外部委員が半数を占める経営協 議会、役員会で報告、承認を得て、3月末に「未来共創プラン」と名付けまし た。「共に未来の教育を創る」ということです。このビジョンは、「我々、愛知教 育大学は、子どもと共に、学生と共に、社会と共に、附属学校園と共に、未来 の教育を創ります。」としています。

NODA Atsunori

### 学長 野田 敦敬

第13代愛知教育大学長 (2020.4-)

1958年生まれ 名古屋市出身 教育学修士(愛知教育大学) 専門:生活科教育、総合的学習 日本生活科·総合的学習教育学会 前会長

学部・大学院とも本学で学んだ同窓 生で、名古屋市公立小学校で14年間 教鞭をとった教員経験もあります。



「子ども」とは、幼児から高校生までを指し、「社会」とは、学校、教育委員会、保護者、地域の企業やNPO、海外の協定校などを指します。これらのステークホルダーの皆さんと、プランについての意見交換をする中で、大変ありがたいことに、「大学をより良くすることに参加したい」、「学校や地域社会、教育委員会とのつながりを大切にしてほしい」、「ぜひ一緒にやりましょう」といった力強い後押しを数多くいただきました。

小塚学長補佐 未来共創プランには 3つの目標と9つの戦略がありますが、その概略を紹介していただけますか。

野田学長 目標1「子どもや学生、社会との対話や協働を通して、現代的教育課題の解決に貢献し、より質の高い教育及び教育支援専門職の育成を実現します。」 今、教員採用試験の倍率が小学校で3倍を切っています。大学教育はもとより、いかに大学を卒業・修了してから教員研修を担いながら、質の高い教員を育てあげていくかが非常に重要となっています。戦略1は、大学を訪問した子どもと触れ合うかによって、学生を育ててくれます。戦略2は、教育リソースデータバンクを現職の先生方が利用することで授業の質を高め、教育課題を解決することにもつながります。一番力を入れている戦略3は、教師の魅力を創り上げていくことで、社会全体で質の向上を目指します。戦略4は、海外協定校との連携を活用して、教育・研究の質を高め、グローバルマインドの醸成につなげます。

目標2「大学と附属学校園との連携強化を図ることで、より質の高い教員 研修を実現します。」 附属学校園は本学の宝であり、この宝をどう磨き上げていくのかが我々の使命だと思っています。教職大学院との連携を強化し、 附属学校の先生にもぜひ大学院で学んでほしいと思っています。また、公立学校へ展開できるものとして、スタジオ教室(仮称)を設置し、全国に授業等を発信していきたいです。

目標3「広域拠点型教員養成系大学としての意義と価値を高めます。」 教科等を横断した次世代型プログラムを開発し、国公私立との連携協定による教職大学院を核としたネットワークを構築します。



KOZUKA Yoshitaka 学長補佐 小塚 良孝 (外国語教育講座 准教授)

小塚学長補佐 未来共創プランを 進める上でのポイントを教えてくだ さい。

真島学長補佐 9つの戦略自体がさまでまな形で連携して相乗効果を生むと、最終的にはビジョンにつながっていき、大きな力に発展していくという実感をもっています。例えば、戦略2「教育リソースデータバンク」と戦略3「教職の魅力共創」については、津島市教育委員会と地域のケーブルネットワークが、学校の授業や教材をコンテンツ化し、ケーブルテレビを通して配信する取り組みをしています。そこに本学がかかわることによって、大学の授業動画

やコンテンツを発信するとともに、教育委員会と小中学校とケーブルテレビとのネットワーク化について愛知県内全体に広げていく役割を、教育のプラット

フォームとして発信していきます。また、戦略3では、叢書企画「教師の魅力 共創」の原稿を広く社会全体に募集して、教育内容や学校活動、学校生活等 さまざまな視点や立場から、より良い教育の未来につながる教職の魅力を 作り上げて発信していきます。

小塚学長補佐 ここまで、野田学長は真島学長補佐と県内教育委員会や附属学校園を精力的に訪問されています。そこでの印象や本学に対する期待、要望などお聞かせください。

野田学長 愛知県内には54の教育委員会があり、当初は全部訪問できるのかと半信半疑でしたが、6月末で訪問数40を超えました。歴代の学長で、このような取り組みをした方はいないと思うので、これも私の特色だと思っています。実際に、教育委員会では特別支援や外国人児童生徒、部活等の問題を抱えています。地域の特色はさまざまですが、同じ教育をしなければならないことの大変さを痛感しているところです。ある教育長より、私が学長になったことで勇気をもらったとうれしい言葉をいただき、これからも教育委員会と連携して、相乗効果を生み出すことの重要性を強く感じました。また、附属学校園とのかかわりは、学生時代の教育実習、大学教員になっても続いており、附属の重要性は非常に理解しています。経営面や文部科学省の方針を踏まえると、厳しい状況であることは否めません。歴史ある本学の附属学校園をきちんと

した形で存続し、活用していくことが重要であり、全国区になれるよう支援していくつもりです。高等学校においても、30人学級の成果を出していけたらと思います。

真島学長補佐 学長戦略ワーキング の立ち上げ当初から、情報共有・情報の 透明化が本学の課題であるとの意見が 挙がりました。学長ご自身もそのことを 意識され、情報の可視化につながるよう 工夫されています。また、学長も共に汗をかいて動いてくれるという姿勢が、教職員をやる気にさせ、人を動かす魅力、相乗効果となっています。



MAJIMA Kiyoko 学長補佐 真島 聖子 (社会科教育講座 准教授) 本学同窓生、教員経験あり

### 本学の今後の展望について

野田学長 学長就任時に私は本学のキャッチフレーズとして、「子どもの声が聞こえるキャンパス、地域から頼られる大学」を掲げました。その理想の姿を実現すべく、「共に未来の教育を創る」という思いを込め、「未来共創プラン」を公表しました。PDCAサイクルの「Plan」を終え、「Do」に入っています。このプランが「絵に描いた餅」とならぬように、教職員、ステークホルダーと協働して推進していきたいと思っています。どこまで実現できるか、2021年度次第だと思います。このプランに沿って、本学を、「未来を創る子どもたちのための教育大学」として、学生だけでなく子どもたちの好奇心やチャレンジ精神も育むことのできる場としていく所存です。

#### 教職の魅力に関するアンケート調査

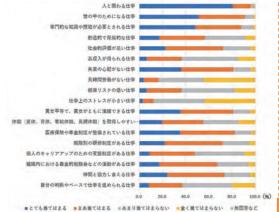
教職の魅力向上の取り組みを進める上で、さまざまな立場の方々(中高生・保護者・一般)が持つ教職の魅力やイメージを明らかにするアンケート調査を実施しました。(日本全国からの有効回答 6,713件)



アンケート企画・実施担当 MIYAGAWA Takahiko

准教授 宮川 貴彦 (理科教育講座) 教職に対するイメージと学校教員の働きがいに関する回答結果から、「教職は働きがいがあり職業として安定しているものの、長時間労働が多く仕事上のストレスが多い職業」というイメージが広く定着していることが明らかになりました。また、教職に対するイメージの中でも、特に「創造的で発展的な仕事」と「仲間と協力し合える仕事」という観点については、教職の魅力度に応じてイメージが大きく異なることが分かりました。今後は、アンケート調査結果から得られた知見に基づきつつ、教職の魅力を醸成するより具体的な取り組みが求められます。

アンケート調査についてのより詳細な分析結果に 興味のある方は「教職の魅力共創」Webサイトに掲載されている報告書をご覧ください。



教職のイメージの設問における回答の割合(%)

### 新理事紹介 ……

理事(総務·財務担当)·副学長·事務局長 新津 勝二 理事

(略歴) 文部科学省情報教育振興室長 大阪教育大学 理事·事務局長

4月に着任しました。出身はNHK大河ドラマ「青天を衝け」の主人公"渋沢 栄一"生誕の地である埼玉県深谷市ですが、私自身は福岡、大阪に続く5年目の単身赴任になります。私は子どもの笑顔を見ることが大好きで、今でも学校の先生になりたいと思っています。しかし、教育行政を30数年経験する中で、先生方をあらゆる面からサポートする仕事にとてもやりがいを感じながら、教員養成大学で働くことを楽しんでいます。

本学の印象はキャンパス整備が行き届いていて、働きやすく学びやすい環境だと思いました。3月に策定された「未来共創プラン」には、『子どもの声が聞こえるキャンパス』というとても魅力的なフレーズが掲げられていますが、キャンパス内に子どもたちの笑顔があふれる風景は、学生や教職員にとっても素晴らしい相乗効果を生み出すことになると確信しています。また、教職の魅力向上についても、前職の大阪教育大学時代に構築した「教師冥利に尽きるエッセイ」の活用など他の教員養成系大学と連携したいと考えているところです。

私の趣味はゴルフと料理なのですが、特に料理は、外出自粛中にパンやデザート作りなどにチャレンジして腕を上げたので、今ではフルコースでおもてなしできるほどになりました。1日も早くホームパーティを再開することが今の小さな願いです。

学生の皆さんには、『世界中の子どもたちを笑顔にする』ことを常に考えて、日々の勉強やさまざまな活動に取り組んでいただくことを大いに期待しています。

『子どもの声が聞こえるキャンパス』は、 学生や教職員にとっても素晴らしい 相乗効果を生み出す!



型通りの言葉に流されず、教育実践の 「事実」を多面的に捉える言葉を持って いきたいと思います。



## 研究室訪問

学校教育講座 竹川 慎哉 准教授 教育方法学・カリキュラム論

#### 研究テーマを教えてください。

教育学の中でも教育方法学、カリキュラム論を専門としています。私の基本的な問いは「学校教育では何を基準に教える内容が決定されているのか? そこにはどのような問題があるのか? どのようなシステムや実践へとつくり変えるべきか?」という点にあります。教える内容や方法の基準や妥当性を社会的平等や公正という点から考えています。

#### 教育・研究の道に進んだきっかけは何ですか

一つは、憧れる恩師や研究者に出会ったことです。学部から大学院までお世話になった先生方は、いずれも学校や教師たちからの切実な問いかけに応答することをスタンスとしていました。小中学校の教師を目指して大学に入りましたが、教育学研究者の立場から、あるいは教師を育てる立場から学校教育を変えていきたいと考えるようになりました。もう一つは、大学院時代に2年間講師として働いた小学校での子どもたちや教師との出会いです。それまで見えていなかった教育の実際に向き合うとともに、研究の方向性が間違っていないことも確信する機会となりました。

#### 「教職の魅力共創」プロジェクトについて

小塚良孝学長補佐とともに、ウェブサイトの構築、現職教員へのインタビュー動画、リーフレットの作成を担当しています。2020年度は8名の先生方の動画を掲載することができました。2021年度は叢書を刊行する予定です。

新理事紹介 #####

理事(大学経営担当)

### 東幸雄 理事

(略歴) トヨタ自動車株式会社理事 愛知教育大学監事

このたび、大学経営担当の理事を務めさせていただくことになりました東です。昨年の8月まで4年半、本学の監事をしておりましたので、大学の概略については承知をしておりますが、監事と理事では大学内での位置付け、立場が異なっておりますので、また新たな気持ちで、学長をサポートしつつ、健全な大学の運営、発展に少しでもお手伝いできればと思っております。

さて、皆さんご存知の通り、現在世界はコロナウイルスとの生存をかけた大変な 戦いの最中にあります。皆さんもいろいろな面で動きを制限され苦労されておられ る事と思いますが、こういった災害があればあるほど、被害の最小化、早期の解決に は、人間としての叡智をいかに上手く発揮できるかにかかっているように思います。 将来、自然災害、人為的災害等いろいろな災害が発生する可能性のある中、一人一 人が必要な情報を収集、分析し、適切な判断に基づいて行動できる事が大変重要で す。まさに人材の育成です。

近年、社会環境の変化は大きく、速く、それに対応できる人材の育成は重要で、それを担う教育が今まで以上に大切であり、将来の人材育成、教育を主導していく人を育て、送り出す役割の、愛知教育大学に対する社会の期待は大です。

健全で、夢のある社会の実現には、適切な人材育成とそのための教育が必要不可欠です。その担い手になるんだと言う自覚を持って、日々の研究、勉学活動に励んでいただきたいし、またその為の環境整備が皆さんと一緒にできれば幸いです。よろしくお願いいたします。

人材の育成を担う教育が今まで以上に 大切であり、将来の人材育成、教育を 主導していく人を育て、送り出す愛知 教育大学の役割は大きい。

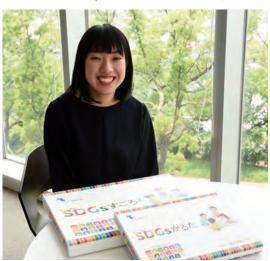




2020年8月撮影 東 監事(当時)(前列左)

### もっと多くの人にSDGsを 広めていきたいです!







# 愛教大生ピックアップ! \*\*\*\*\*\*\*\*

なごや環境大学SDGs未来創造クラブの小学生向け 教材「SDGsかるた」「SDGsすごろく」制作に協力 しました

#### 大学院教育学研究科 教育実践高度化専攻 **竹内 真紀**さん

私がSDGsの普及活動に興味をもったのは、学部3年生のときに参加した「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」でした。この活動に参加する中で、自分の知らないところでは、SDGs達成に向けた多くの取り組みが行われていることを知り、私たち大学生でもSDGs達成に向けた取り組みを行うことができるのではないかと思いました。それまでSDGsについてはほとんど知らなったため、これからの社会を持続可能でよりよいものにするためにSDGsについて学び、普及していきたいという強い気持ちが芽生えました。また、これをきっかけに多くの子どもたちにもSDGsを知ってもらいたいと思い、卒業論文では社会教育施設でSDGsを学ぶためのワークシート開発も行いました。

SDGsには、大人でも理解することが難しい項目が多く含まれています。そのため、小学生の子どもたちがSDGsを知り、SDGsに興味をもってもらうためには、どのような内容にしたらよいのか考えるのに苦戦しました。学生同士の話し合いや、名古屋市の職員の方との打ち合わせを通し、何度も修正を行った末に、「SDGsかるた」と「SDGsすごろく」を完成させることができたときの達成感はとても大きかったです。今回、この2つの教材は、名古屋市内のすべてのトワイライトスクールに配布されることになりました。自分が制作にかかわった教材で名古屋市内の多くの子どもたちが学び、SDGsについてもっと知りたいと思ってもらいたいです。



#### 教員養成の高度化に関する連携協定を 4大学と締結

教員養成の高度化に関する連携協定を愛知東邦大学、鈴鹿大学、愛知淑徳大学、愛知大学と締結しました。これにより、本学教職大学院へ進学を希望する各大学の学生が、特別選抜の受験や、教職大学院の行事や取り組みなどへの参加ができるようになります。これまでに椙山女学園大学と締結しており、協定指定校は5校となりました。

締結先	締結年月
椙山女学園大学	2019年6月
愛知東邦大学	2021年2月
鈴鹿大学	2021年3月
愛知淑徳大学	2021年4月
愛知大学	2021年6月



愛知淑徳大学との協定締結式

#### 「多文化体験活動」の授業でアジア各国の学生や 海外出身の方と交流

1月から3月にかけて、教職や教育を支える専門職に必要となる資質や能力を身に付けることを目的とした「多文化体験活動」を実施しました。

2020年度は、海外での活動から変更して、現地の学生とのオンライン交流や現地オンラインツアー、関連する県内の施設での活動となりました。学生132人が11コースに分かれ、カンボジア、インドネシア、タイ、ベトナム、モンゴル、韓国、台湾、

フィリピン、マレーシアの9カ国の学生たちと教育現場の様子などについて情報交換をしました。また、大学の近隣に在住する海外出身の方と交流する機会も設け、アジア諸国の文化や習慣を深く知る機会となりました。



インドネシアコースの活動の様子

### 「よしもと×愛教大SDGs推進企画 『笑いから始めるSDGs』」を開催

3月15日(月)、講堂にて「よしもと×愛教大SDGs推進企画『笑いから始めるSDGs』」を開催し、吉本興業(株)の「スーパーマラドーナ」、「ゆにばーす」、中山真希さん、「おばけ」と一緒に笑いながら楽しくSDGsについて学びました。

当日は学生を中心に162人の参加があり、SDGsに関するクイズ企画や金沢工業大学が開発したSDGsアクションカードクロスを使ったゲーム企画、学生団体SAGA(サーガ)による本学のSDGs推進活動の紹介などを行いました。

学生からは「SDGsを知る入口としてぴったりのイベントだった」「SDGsをあまり知らなかったが、楽しく学習することができよかった」といった感想が聞かれました。



SDGsに関するクイズ企画

#### 附属岡崎小の児童が和菓子店のどら焼きのお正月限定パッケージをデザイン! 野田学長が児童にビデオメッセージを送りました

2021年1月、附属岡崎小学校4年3組の児童34人が、社会科の伝統産業を学ぶ授業の一環で、岡崎市の和菓子店「小野玉川堂」のどら焼きのお正月限定パッケージをデザインしました。

大正11 (1922) 年創業の小野玉川堂は伝統の製法を大切にしている老舗和菓子店です。授業で同店について調べ学習を行う中で「店の伝統を守るために一緒にできること」として、今回のパッケージデザインの取り組みが実現しました。児童一人一人がデザインを考え、どら焼きのほかにも、干支の牛や縁起物のダルマなどの正月らしいイラストや、「伝統の味守りぬく」などのメッセージが思い思いに描かれました。

この取り組みを受け、野田学長は児童に向けて「皆さんがパッケージを作るときに熱い気持ちになったのは、小野玉川堂さんが見せてくれた姿や話してくれた言葉があったからだと思います。そして小野玉川堂さんが熱い気持ちになったのは、皆さんに『こんな力をつけたい』と思った先生の熱意に応えてくれたからだと思います。熱い気持ちのつながりがとてもすてきです」とビデオメッセージを送りました。



個性豊かな34種のパッケージが 販売された



カメラの前で児童へのメッセージを話す 野田敦敬学長

#### 「小田太郎展―バングラデシュ・東日本大震災ボランティア活動記録」を 附属図書館で開催

3月1日(月)~26日(金)、「小田太郎展一バングラデシュ・東日本大震災ボランティア活動記録」が附属図書館 アイ♥スペース で開催されました。小田太郎さんは本学の卒業生で、蒲郡市内で小学校教員としてご活躍でしたが、2018年、がんにより29歳で 逝去されました。

展示会では、小田さんが在学中に、父親と参加したバングラデシュでのNGO活動の際に撮影した写真と、その写真集『バングラ

デシュに咲くハスのように』を展示しました。そして、教員になった後も続けていた東日本大震災(2011年3月)のボランティア活動の写真や記録、余命宣告以降に小田さんと父親が制作した絵本『ひとりじゃないよ』などを展示しました。震災から10年目の節目の年ということもあり、多くの方が来場しました。







太郎さんの志を継いで父親が完成させた絵本

#### 第58回豊田市民美術展で美術選修の 岡井弥玖さんが受賞

第58回豊田市民美術展の彫刻・インスタレーションの部で本学の初等・美術選修3年生の岡井弥玖(みく)さんが優秀賞を受賞しました。

受賞作品はセミの抜け殻をテーマにした「強者(つわもの)」です。セミの幼虫が土の中から地上に出てくることを受け、「抜け殻は、勇気を出して外に出てきた強者の証である」という意味が込められています。粘土で作った原型に4~5層の和紙を貼り付けて、その後粘土から外して作られており、透けるような質感が表現されています。

「今回は彫刻でしたが、2021年は絵画など何でも挑戦したい」と、岡井さんは意気込みを話しました。





岡井弥玖さんと受賞作品「強者」

#### インディアナ州立大学と交流覚書を締結

3月22日(月)、アメリカ中西部インディアナ州にあるインディアナ州立大学と交流覚書を締結しました。今後、相互に教育、研究における協力を促進するため、共同教育実習プログラムの開発や短期インターンシッププログラムなど学生の交流、教育・研究にかかる教職員の交流などを実施します。

インディアナ州立大学は1865年に小中学校の教員養成の専門校として設立され、中西部有数の州立総合大学へと発展してきました。

覚書の締結に先立ち、3月3日(水)に開催したオンライン交流イベントには本学の学生19人が参加し、相互の国際理解と友好を深める良い機会となりました。



オンライン交流イベントの参加者

#### |講堂に隣接する広場「スカイガーデン」の 竣工式を実施

講堂に隣接する広場の改修が完了し、3月24日(水)に竣工式を行いました。

この改修により、水たまりができにくい床材や排水設備の整備による「排水機能の強化」や、手すり・点字ブロックの整備による「バリアフリー化の推進」、防災ベンチの設置や階段の拡張による「防災機能の強化」、人工芝エリアの整備による学生や地

域住民の「集い(交流)の場としての活用」など利便性の向上が図られました。広場の新名称は「スカイガーデン」!

ぜひご利用ください。



除幕式の様子

#### 大学オリジナル梅酒 「愛教大 学長 梅酒」を数量限定で販売!

4月6日(火)、本学に自生している梅を使った本格梅酒を発売しました。2017年、2019年の発売に続く第3弾。今回は「愛教大学長梅酒」にリニューアル!

学長はじめ職員が収穫・選別した梅を、その日のうちに地元の 醸造工場へ搬入。梅の特徴を生かすため「原酒 無ろ過」にこだわり、焙煎樽で貯蔵しました。ほのかに香り立つスモーキーな薫香 と甘い梅の香り、上品で奥深い味わいをぜひご賞味ください!

「愛教大 学長 梅酒」は、「酒のすぎた」全店、愛知教育大学生活協同組合および刈谷ハイウェイオアシス「産直市場 おあしすファーム」で数量限定で販売中です。(価格は1,848円税込)





ラベルは野田学長が題字を揮毫(きごう)し、 職員がデザインしました

### クラブ・サークル紹介 ………

#### 男子バレーボール部

男子バレーボール部は、現在東海リーグ2部に所属しており、1部昇格を目指して第二体育館で週3~5日活動しています。学生主体での練習や対外試合でチームづくりをしています。また、バレーボール教室をはじめ地域の方々と交流を通じた活動も行っています。オンとオフの切り替えを大切にし、真剣に何より楽しくバレーをする一人一人が輝けるチームです。

これからもバレーボールを通じた成長、そして地域に貢献できるよう精進していきます。



#### 訪問科学実験わくわく

訪問科学実験わくわくは、小学校や地域からの依頼を受けて先方に出向き、子どもたちと科学実験を楽しむ学生主体の自主的活動です。

将来教員を目指す学生が、理科についての正しい 知識を身に付け、その面白 さや楽しさを子どもたちに



効果的に伝えることのできる能力を育成することとともに、地域へ貢献することを目的としています。また、理科を専門とする学生だけではなく、国語、社会などの文系の学生も多数活動に参加しています。







巨大シャボン玉!

ワンダーくんみ

### 今後のイベント予定

9月4日(土)·5(日) 大学祭

11月20日(土)

科学・ものづくりフェスタ

11日21日(日)

ホームカミングデー

11月27日(土)・28(日)

スポーツの祭典

12月12日(日)

冬の子どもまつり

#### 愛知教育大学未来基金へのご寄附のお願い

愛知教育大学は、広域拠点型教員養成大学として「子どもの声が聞こえるキャンパス、地域から頼られる大学」を目標に掲げ、子どもたちの未来を拓くことができる教員の養成と学校教育を支援する人材を送り出しています。未来へ羽ばたく多くの学生を支援するため、皆様からのご寄附・ご支援をお願いいたします。新型コロナウイルス感染症対策として、未来基金より困窮する学生への給付も行っております。ご協力をお願いいたします。

〈愛知教育大学未来基金の種類〉

- ・「AUE修学支援基金」経済的な理由で修学に困難がある本学学生を支援いただくための基金
- ・「教育研究基金」学生表彰、課外活動、留学生の交流等、幅広く本学学生支援いただくための基金

・「プロジェクト等使途限定基金」特定目的の事業を実施するための使途を特定した寄附金

なお、本学への寄附に対しましては、所得税法、法人税法による税法上の優遇措置を受けることができます。 詳細はホームページをご覧ください。

愛知教育大学未来基金

https://www.aichi-edu.ac.jp/intro/kikin/about.html



愛教ちゃん

愛知教育大学広報誌「あえる AUE Letter」 vol.5 (2021 Summer) 2021年7月発行



国立大学法人 **愛知教育大学** AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

編集·発行/愛知教育大学 総務·企画部 広報課 広報·渉外係 E-mail/kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp https://www.aichi-edu.ac.jp

